

IV. CSRの取組み

[目次]

IV- 1 日本興亜保険グループの社会的責任（CSR）	58
IV- 2 環境問題への取組み	58
IV- 3 社会貢献活動	59

IV. CSRの取組み

IV-1 日本興亜保険グループの社会的責任（CSR）

企業は、社会と共存共栄してはじめて成り立ちます。

当グループは、保険事業を通して、豊かで健全な社会に貢献することを、最も重要な社会的責任と考えています。

日本興亜保険グループが考えるCSR

日本興亜保険グループは、企業理念と行動指針に基づき、保険事業を通して、様々なステークホルダー※1の繁栄を支えるとともに、次世代への持続可能な社会※2の実現に貢献していきます。

◆ 「企業理念」「行動指針」に基づいています

当グループの「企業理念」は、保険事業を通して「豊かで健全な社会の発展に貢献する」というCSRの根幹をうたっています。また、「行動指針」においても、お客様・株主の皆様をはじめとする様々なステークホルダーへの貢献を意識しています。

◆ ステークホルダーの繁栄を支え、現代社会に貢献します

企業は社会の繁栄があってはじめて成り立ちます。共存共栄を図っていくパートナーであるステークホルダーの繁栄を支えることが社会的責任と考えています。

◆ 保険事業を通して、社会的責任を果たします

保険事業は「1人は万人のため、万人は1人のため」の精神に基づいています。保険事業そのものが社会貢献であり、その適切な遂行こそが社会的責任の中心です。したがって、当グループの業務を、ステークホルダーのために高度化し、より良い商品・サービスの提供を行うことが最も大切なことと考えています。

◆ 持続可能な社会の実現のため、将来社会に貢献します

現代のステークホルダーばかりでなく、環境問題への対応、少子高齢化社会への対応など、次世代への貢献も大切な社会的責任と考えています。

※1. ステークホルダー：お客様、株主の皆様、代理店の皆様、従業員など会社と共存共栄を図っていくパートナー。

※2. 持続可能な社会：今生きている私たちの責任として長い目で見て築く、将来の人々が幸せに暮らせる社会。

IV-2 環境問題への取組み

地球環境の悪化が社会の安全・安心を脅かし始めた現代において、安心をお届けすることを使命とする保険会社が環境問題に取り組むことは、当然のことといえます。日本興亜保険グループでは、地球温暖化による自然災害リスクの増大を防ぐという観点だけでなく、すべての活動の原点であるお客様の信頼にお応えするために、私達は保険会社が果たすべき社会的責任の大きな柱と認識して環境問題に取り組んでいます。

日本興亜保険グループでは、企業理念である「豊かで健全な社会の発展」への貢献、行動指針に掲げる「環境にやさしい企業活動」の展開のため、国際規格「ISO14001」に基づく環境マネジメントシステム（EMS）を構築・運用しています。

2002年6月に日本興亜損害保険株式会社の本社サイトでISO14001の認証を取得し、その後、対象を日本興亜保険グループの全国の拠点および子会社・関連会社へ広げる取組みを行い、2005年6月には、当社およびそんぽ24損害保険を含む全国組織で認証取得しました。

日本興亜保険グループの「環境方針」

《環境理念》

日本興亜保険グループは、地球環境の保全・持続可能性の確保が人類共通の最重要課題であることを認識し、「豊かで健全な社会の発展に貢献します」との企業理念のもと、あらゆるステークホルダーとの積極的な対話を通じて、企業の社会的責任を実現し、地球温暖化問題への積極的な取り組みにより環境と経営の両立をめざします。

《基本方針》

真に豊かで安心できる暮らしを実現し、その基盤となる地球環境を未来に引き継ぐために、グループのすべての役職員を挙げて、全力で取り組みます。

1. **カーボンニュートラル宣言企業（日本興亜損保）として、CO₂排出量を削減**
自らの責任を考慮しあらゆる企業活動に伴うCO₂排出量を算定したうえで、省資源・省エネルギーの取組みやリサイクル活動を通して、環境負荷低減と地球温暖化防止に向けCO₂排出量を削減します。また、環境関連法規制等を遵守すると共に、環境汚染の予防に努めます。
2. **保険商品・サービスを通して環境保全の重要性を広く社会に伝える**
保険会社としての役割・責任を認識して、環境配慮型の保険商品・サービスを提供することで、お客様をはじめとしたステークホルダーの皆様と一緒に、環境負荷低減と循環型社会の形成に積極的に取り組みます。
3. **保険との関わりを通しCO₂排出量の削減を支援し低炭素社会の実現に取り組む**
保険会社としての機能を生かし、「エコ安全ドライブ」の啓発・普及活動をはじめとした環境負荷低減活動に取組み、低炭素社会の実現をめざします。

この環境方針の達成のため、環境目的・目標を定めて定期的な見直しをおこない、継続的な改善に努めます。また、この環境方針は日本興亜保険グループのすべての役職員に周知すると共に、一般に公開します。

2009年5月7日
日本興亜損害保険株式会社
取締役社長 兵頭 誠

IV-3 社会貢献活動

生命保険事業は社会性・公共性の高い事業であることから、社会の発展に寄与するための社会貢献活動は重要なものであると考えています。

- (1) 日本興亜おもいやり倶楽部の活動
日本興亜保険グループの役職員有志を会員とした「日本興亜おもいやり倶楽部」（マッチングギフト制度）を通じ、社会福祉・環境保護・国際貢献等の活動を行っている団体への寄付を実施しています。
- (2) エコキャップ運動
ペットボトルキャップを集めて再利用に供し、その売却益を“世界の子どもにワクチンを贈る”活動に賛同し、本社で取組みを行っています。
- (3) 本社ビルへのAED（自動対外式助細動器）の設置
本社ビル1F入口にAEDを設置するとともに、総合防災訓練時に救命講習を取り入れるなど社員の救命技術向上に努力しています。
- (4) その他の活動
（社）生命保険協会および全国にある地方生命保険協会を通じて、震災被災者への見舞金の寄贈や要介護老人支援策、募金・献血運動など様々な社会貢献活動に取り組んでいます。